

- 問1 東北6県の主要な祭り（青森ねぶた祭、盛岡さんさ踊り、仙台七夕まつり、秋田竿燈まつり、山形花笠まつり、福島わらじまつり）に関する2024年のデータを確認すると、来客数が2019年比で減少している場合でも、地域にもたらす利益が増加している事例が見られます。来客数だけに頼らず、地域全体の利益を最大化するための戦略として、最も適切な説明はどれですか。（2026年 千葉県公立入試 類似）
- 有料観覧席の導入や体験型ツアーの充実により、観光客1人あたりの消費額を向上させる。
 - 露店の出店を禁止して会場のスペースを広げ、観光客の滞在時間を短縮させて回転率を上げる。
 - 混雑を避けるため、地元住民以外の観光客の入場を制限し、公共交通機関の負担を減らす。
 - 祭りの開催期間を1日だけに限定し、運営にかかる人件費や警備費を最小限に抑える。
- 問2 日本の人口構成に関する統計において、1980年と比較した人口比率が約93%まで減少し、65歳以上の人口割合が約40%に達している一方で、15歳から64歳の生産年齢人口の割合が他地域に比べて著しく低くなっている秋田県のような地域で、現在直面している課題として最も適切な説明はどれですか。（2025年 愛知県公立入試 類似）
- 社会を支える労働力となる生産年齢人口が減少し、社会保障などの負担が相対的に大きくなること
 - 都市部からの人口流入が急激に進むことで、住宅不足や交通渋滞などの都市問題が発生すること
 - 若年層の労働力が豊富になることで、製造業を中心とした第2次産業の経済成長が加速すること
 - 年少人口が増加することで、義務教育に必要な学校施設の不足が深刻な問題となること
- 問3 地形図を用いて特定の地域の変容を調査する際、1998年には工場として利用されていた場所が、2025年には別の新しい建物に建て替えられている状況から読み取れる事柄として、最も適切な説明はどれですか。（2026年 群馬県公立入試 類似）
- 産業構造の変化や都市機能の更新に伴い、工場の跡地が別の用途へと転換された。
 - 大規模な災害に備えるため、工場跡地のすべての建物が取り壊され、一切の建築が禁止された。
 - 地域の歴史的な景観を後世に伝えるため、工場の建物が当時の姿のまま永久保存された。
 - 食料自給率を向上させるため、工場の跡地がすべて大規模な水田や畑として整備された。
- 問4 東北地方の太平洋側、特に宮城県沿岸部において、冬の降水量が少なく乾燥した晴天の日が多くなる理由として、地形と風の影響をふまえて説明したものを選びなさい。（2019年 富山県公立入試 類似）
- 冬に暖流である対馬海流の上を通る湿った風が、山脈にぶつかる前に太平洋側へ直接吹き込むため。
 - 夏に冷たい千島海流（親潮）の影響で冷害が発生し、その影響が冬まで残って雲の発達を妨げるため。
 - 奥羽山脈が夏に太平洋側から吹く湿った南東の季節風を遮り、冬にだけ雨雲を通過させる仕組みになっているため。
 - 冬の北西の季節風が奥羽山脈を越える際、日本海側に雪を降らせ、太平洋側には乾燥した空気が流れ込むため。
- 問5 青森県などを通る奥羽山脈よりも東側の地域において、夏季に「冷たく湿った北東の風」が吹き続けた際に発生する自然災害と、その状況を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2018年 東京都公立入試 類似）
- 干害が発生し、乾燥した風によって畑作物が枯れてしまう。
 - 冷害が発生し、気温が下がらないため稲の生育が妨げられる。
 - 塩害が発生し、強い潮風によって沿岸部の農作物が腐食する。
 - フェーン現象が発生し、山を越えた風によって急激に気温が上昇する。
- 問6 東北地方に位置する宮城県と岩手県の産業や特徴について説明した文として、正しいものはどれですか。（2019年 長野県公立入試 類似）
- 宮城県はリンゴの生産量が全国第1位であり、岩手県は県庁所在地の秋田市を中心に「あきたこまち」の生産が行われている。
 - 宮城県は東北地方の日本海側に位置して最上川の稲作が盛んであり、岩手県は日本地図で宮城県の南側に隣接している。
 - 宮城県は南部鉄器の生産が伝統的に盛んであり、岩手県は仙台平野を中心に「ひとめぼれ」などのブランド米の栽培が集中している。
 - 宮城県は県庁所在地の仙台市を中心に「ひとめぼれ」などの稲作が盛んであり、岩手県は南部鉄器などの伝統的工芸品で知られている。
- 問7 東北地方の太平洋側では、夏季にオホーツク海高気圧から吹き込む冷たく湿った北東の風の影響により、気温が上がらず稲などの作物の生育が妨げられる現象が起こることがあります。この風の名称と、この気象災害による被害を抑えるために農業試験場などで長年行われてきた取り組みの組み合わせとして正しいものはどれですか。（2026年 沖縄県公立入試 類似）
- やませ — 低温でも育ちやすい稲の品種改良
 - からっ風 — 防砂林の設置による土壌流出の防止
 - 季節風（モンスーン） — 温室を利用した促成栽培
 - フェーン — かんがい施設の整備による干害対策
- 問8 世界地図において北緯40度の緯線上を、朝鮮半島から東に向かって進んだ場合、中国の黄河を通過した次に現れる、日本の東北地方を南北に流れる一級河川の名前として正しいものを次の中から選びなさい。（2026年 広島県公立入試 類似）
- 北上川
 - 筑後川
 - 信濃川
 - 石狩川
- 問9 東北地方に属する県のうち、最も南に位置し、関東地方の茨城県や栃木県と境界を接している県はどこですか。（2020年 和歌山県公立入試 類似）
- 宮城県
 - 山形県
 - 岩手県
 - 福島県
- 問10 東北地方の6県を比較した統計において、ある県の果実の農業産出額は約833億円に達し、他の5県の132～147億円という数値に比べて突出して高い規模となっています。この県名と、その産出額の多くを占める果実の組み合わせとして正しいものを選びなさい。（2018年 富山県公立入試 類似）
- 青森県（りんご）
 - 長野県（りんご）
 - 福島県（もも）
 - 山形県（さくらんぼ）
- 問11 東北地方の日本海側では冬に多くの降雪が見られるのに対し、奥羽山脈などの山々に囲まれた内陸部では、沿岸部と比較して年間の降水量が少なくなる傾向があります。このように内陸部で降水量が少なくなる理由として、最も適切な説明はどれですか。（2024年 宮城県公立入試 類似）
- 湿った空気が山脈を越える際に雨や雪として水分を放出するため
 - 暖流である日本海流の影響が山脈によって遮られてしまうため
 - 内陸部は標高が高く、年間を通して上昇気流が発生しにくいから
 - 夏に吹く冷たく湿った「やませ」の影響を最も強く受けるため
- 問12 1980年の東北地方における水稻収穫量を平年と比較した統計資料では、青森県や岩手県などの太平洋側の地域において、収穫量が平年の半分以下になるという深刻な状況が記録されています。このような冷害が発生する主なメカニズムとして、最も適切な説明はどれですか。（2016年 神奈川県公立入試 類似）
- 夏に雨がほとんど降らなくなることで、大規模な干ばつが発生するため
 - 台風の接近回数が増加し、強風と洪水によって稲がなぎ倒されるため
 - 夏の北東風が低温と日照不足をもたらし、稲の生長を妨げるため
 - 冬の間に降り積もった雪が夏まで残り、水田の温度が上がらなくなるため
- 問13 日本の各地域における農業産出額の品目別割合を比較したとき、米の割合が約35%に達し、提示された他の地域と比べて米の比率が極めて高いという特徴を持つ地域はどこですか。（2016年 岩手県公立入試 類似）
- 九州地方
 - 近畿地方
 - 東北地方
 - 関東地方